

「田代小学校の上柴立棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立田代小学校

2 学年・人数

5・6年生（計23人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年8月：2回 夏季休業中（上柴立公民館，グラウンド）

令和4年9月：7回 総合的な学習の時間（多目的室，体育館，校庭）

(2) 発表の日時・場所

令和4年9月25日（日）運動会（本校校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

上柴立棒踊り（かみしばたてぼうおどり）

(2) 由来

田代地区の棒踊りは、五穀豊穡や無病息災を願い、薩摩半島から百年ほど前に伝わったとされる。

(3) 構成等

鎌を使った「棒踊り」、6尺棒と木刀を使った「六尺棒踊」、そして道具を持たないで踊る「甚句節」の3種類の踊りから構成される。

5 保存会や地域との連携の具体

地元の文化を引き継ごうと保存会のメンバーが、小学校の夏休み期間を利用し、毎年5日間（ただし、今年度は2日間）、夜の7時半から9時まで指導してくださる。主に保存会長と連絡を夏休み前にとり、日程を決める。5・6年生児童が4人一組となって隊列を組み練習し、大きなグループを形成する。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

今年度は、運動会で披露した様子が10月2日付の南日本新聞で紹介された。町より特色ある教育活動費として計上していただいた予算で、学校で購入することができた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

【運動会当日の様子】



【南日本新聞の記事より】



【子どもの作文より】



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

鉦と鎌の息を合わせることやリズムをとることが難しかった。しかし、保存会の方々の熱心な指導に頑張ろうと感じた。運動会では、練習の成果を出すことができたとともに、伝統を大切にしようと改めて思った。

【保護者】

夏休みも練習し、素晴らしい踊りを披露してくれた。これからも伝統を守り、伝えていってほしい。

【保存会】

過疎高齢化が進み、踊りを知る住民が少なくなった。今後も児童への指導を続け、後継者を育てていきたい。

【教職員】

これまでは法被も田代支所に借りに行っていたが、特色ある教育活動として予算を組んでいただき、法被の年次的な購入やクリーニング代を賄うことができています。私たち教職員も伝統芸能として大切に受け継ぎ、これからも守っていききたいと思う。